

ミネベアは、地球環境保全を社会からの重要な要請と認識し、経営上の重要なテーマの一つとして取り組んできました。1991年に洗浄用特定フロン及びエタンの使用全廃を目的とした「フロン対策委員会」を設置し、1993年に環境保全活動の基本方針を制定。以後、環境マネジメントシステム「ISO14001」を活動の中心として環境保全活動の積極化と向上に取り組んでいます。

また、2003年からは『環境レポート』を発行し、環境保全活動の実績や取組方針などについての情報を提供しています。

地球環境への取り組み

ミネベアは洗浄用にフロン及びエタンを使用していましたが、各工場に純水洗浄装置を導入し、1993年4月に世界のベアリングメーカーとして初めて、グループすべての工場における洗浄用特定フロン及びエタンの使用を全廃しました。

このオゾン層保護への取り組みや活動に対し、過去3回、米国環境保護庁(EPA)より「オゾン層保護賞」を授与されています。

環境マネジメントシステム

ミネベアは世界中の全拠点において環境保全活動に徹底的に取り組んできており、地域社会に歓迎される企業活動を実践してきています。

グリーン調達

ミネベアグループでは、2004年7月に「ミネベアグループグリーン調達管理要領」を発行し、有害物質を使用しない材料・部品等の調達を行ってまいりました。

2006年7月1日からは欧州において「RoHS指令」が、2007年3月1日からは中国において「電子情報産品汚染制御管理弁法」が施行されるなど、各国において製品に対する有害物質の管理をますます厳格に実施することが求められてきています。このような状況に対応するため、弊社では、お取引先様より納入いただく材料、部品等についてはその分析データのご提出をお願いしています。

製品における環境配慮

ミネベアの製品は家庭やオフィス、航空機、自動車などに数多く使用されています。「鉛フリー」等の有害化学物質に配慮した製品、省エネルギーや地球温暖化防止に配慮した製品、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進、環境に配慮した梱包資材を使用するなど、製品においても環境への配慮をはかっています。

タイ4工場「全員参加の省エネ計画」に参加

ミネベアではタイ王国代替エネルギー開発省エネ局はキングモンクット工科大学トンブリー校と協力し「全員参加の省エネ計画」を実施しました。このプロジェクトに参加した企業は80工場でしたが、ミネベアの取り組みが真剣であったことやその効果が評価され、ミネベアグループ各工場に下記の賞が授与されました。



バンバイン工場、ヴェティチャイ取締役が「優秀省エネ経営者賞」を受賞



ロジャナ工場、「優秀工場賞」を受賞



ロップリ工場、「広報活動及び優秀賞」を受賞

ミネベアは「5つの心得」(16ページをご参照ください)に掲げている、「地域社会に歓迎されなければならない」「国際社会の発展に貢献しなければならない」という考えに基づき、財団の設立、政府活動への協力、アマチュアスポーツの支援、環境保護基金の設立など、社会貢献活動を継続的に行っています。

高橋財団を設立

1992年にタイでの事業10周年を祝って、タイのミネベアグループ各社が当初基金として共同で2,000万バーツを寄贈し、ミネベアの創業者である故高橋高見氏の名称を冠した「高橋財団」を設立しました。その後、タイのミネベアグループ各社の20周年を祝って基金総額を6,000万バーツに増額しました。

当財団は、科学技術関連の学科を学んでいる経済的に恵まれない学生に支援をしており、1993年以来、既にタイ国内の各教育機関で学ぶ500人以上の学生に対して奨学金を授与しています。また、貧困家庭の小学生の心身の健康を確保するため、タイの小学校に対する昼食支援プロジェクトも開始しています。

このほか、タイのミネベアグループは当財団への基金の寄贈とは別に、地元のロップリ県とアユタヤ県の学生に対する奨学金授与制度を実施しています。

タイでの学校設立

タイ国王在位60周年記念として、ミネベアグループは、「ミネベア、タイの子供への知識の提供と学校建設」を計画し、ターク県のメーフールアン校に新しい校舎を建設し、2006年12月24日に寄贈式を行いました。学校建設のほかにも教材や建設資材を寄贈し、校舎の一角に、環境エネルギーコーナーを設け掲示板を設置し、環境やエネルギーに関する本や学習教材を寄付しました。



ミネベア・タイの社員とメーフールアン校の子供たち

タイのアマチュア野球連盟設立に協力

タイのミネベアグループは、アジア野球連盟及び国際野球連盟の協力を得てタイにおける野球の紹介と普及のため、1992年1月のタイ・アマチュア野球連盟の設立に尽力しました。